

2020年度 第1四半期 決算情報

2020年8月4日

田辺三菱製薬株式会社

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提を
おいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がござい
ますので、ご了承ください。

医薬品(開発品を含む)に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイ
スを目的とするものではありません。



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ

広報部 TEL 06-6205-5211

FAX 06-6205-5105

目次

1	2020年度第1四半期 決算の概要				
	1. 2020年度第1四半期 業績サマリー	2. 2020年度 業績予想サマリー		2
2	2020年度第1四半期 連結決算について				
	1. 損益状況			3
	損益実績			3
	主要製品売上収益			3
	2. 財務状況			4
	資産・負債・資本の状況			4
	キャッシュ・フロー計算書			4
	設備投資 / 情報システム開発投資	減価償却費および償却費		4
3	2020年度 業績予想について				
	損益予想			5
	主要製品売上収益予想			5
4	5ヵ年連結財務数値				
	損益計算書	財政状態計算書	その他財務数値	従業員数 6
5	四半期業績の推移				
	損益計算書			7
	主要製品売上収益			8
6	新製品開発状況について(2020年7月25日現在)				
	免疫炎症	糖尿病・腎		9
	中枢神経	ワクチン		10
	その他			11
	2019年度決算発表からの変更点			11

1 2020年度第1四半期 決算の概要

(億円未満四捨五入)

<ジレニア ロイヤリティについて>

当社は、Novartis Pharma AG(以下「ノバルティス社」と)との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分につきましては、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」が定める収益認識基準の要件を満たさなくなったため、売上収益の認識を行っておりません。また、仲裁手続き中は同様の会計処理を継続することとしており、2020年度業績予想につきましても、仲裁手続きが継続していることを見込んで策定しております。

当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

なお、「ジレニア ロイヤリティ」について売上収益の認識を行わない部分につきましては、仲裁最終時に、その結果に応じて一括して収益認識されることとなります。

1. 2020年度第1四半期 業績サマリー

売上収益	918 億円	前年同期比	63 億円	6.5 %
国内	757 億円	前年同期比	50 億円	6.2 %
海外	161 億円	前年同期比	13 億円	7.5 %

国内医療用医薬品は、関節リウマチなどの治療剤「シンボニー」、2型糖尿病治療剤である「カナグル」、「カナリア」、アレルギー性疾患治療剤「ルバフィン」の増収に加え、2020年3月より潰瘍性大腸炎の適応を追加した「ステラール」の寄与などはあったものの、薬価改定の影響や、ジェネリック医薬品の影響を受け、前年同期比6.2%減収の733億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、ノバルティス社に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」等のロイヤリティ収入の減少などにより前年同期比25.7%減収の38億円となりました。

コア営業利益 ^(注)	96 億円	前年同期比	2 億円	1.8 %
-----------------------	-------	-------	------	-------

国内医療用医薬品やロイヤリティ収入の減収があったものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動自粛により、販管費や研究開発費の使用が抑制された結果、コア営業利益は前年同期並みの水準となりました。

(注)当社グループは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益(以下、非経常項目)を除外したものです。非経常項目として、事業譲渡による損益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失等であります。

営業利益	177 億円	前年同期比	80 億円	83.6 %
------	--------	-------	-------	--------

非経常項目として、戸田事業所の譲渡にかかる固定資産売却益など、81億円を計上しました。

税引前四半期利益	178 億円	前年同期比	86 億円	93.7 %
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	115 億円	前年同期比	46 億円	67.1 %

2. 2020年度 業績予想サマリー

売上収益	3,835 億円	前期比	37 億円	1.0 %
コア営業利益	100 億円	前期比	91 億円	47.5 %
営業利益	170 億円	前期比	231 億円	- %
税引前利益	175 億円	前期比	240 億円	- %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	85 億円	前期比	84 億円	- %

2020年5月13日に公表した予想数値から変更はありません。また、上記業績予想には、新型コロナウイルス感染症の影響を含んでおりません。

2 2020年度第1四半期 連結決算について

(億円未満四捨五入)

1. 損益状況

損益実績

(単位:億円)

	2020年度 第1四半期	前年同期比較			予想比較		主なポイント (前年同期比較)
		2019年度 第1四半期	増減額	増減率%	通期予想 2020/5/13公表	進捗率%	
売上収益	918	981	63	6.5	3,835	23.9	主要製品売上収益、参照
国内	757	808	50	6.2	3,141	24.1	
海外	161	174	13	7.5	694	23.1	
海外売上比率	17.5%	17.7%			18.1%		
売上原価	456	448	8	1.8	1,875	24.3	薬価改定の影響等による売上原価率上昇
売上原価率	49.7%	45.6%			48.9%		
売上総利益	462	533	72	13.4	1,960	23.6	
販管費等	366	436	70	16.0	1,860	19.7	
研究開発費	153	199	46	23.3	835	18.3	
コア営業利益	96	98	2	1.8	100	95.8	
非経常項目(注1)	81	1	82	-	70	115.6	戸田事業所売却益ほか
営業利益	177	96	80	83.6	170	103.9	
金融損益(注1)	2	4	6	-			
税引前四半期利益	178	92	86	93.7	175	101.9	
法人所得税	69	36	33	93.1			
四半期利益	109	56	53	94.1	55	198.0	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	115	69	46	67.1	85	135.3	

(単位:円)

為替レート

	2020年度 第1四半期 平均レート	2019年度 第1四半期 平均レート	2020年度 計画レート
米ドル	107.38	109.67	108.00

* 当期において、為替レートの変動により、売上収益で約4億円、コア営業利益で約+4億円の影響がありました。

主要製品売上収益

(単位:億円)

	2020年度 第1四半期	前年同期比較			予想比較	
		2019年度 第1四半期	増減額	増減率%	通期予想 2020/5/13公表	進捗率%
国内医療用医薬品	733	782	49	6.2	3,036	24.1
重点品	453	465	12	2.5	1,823	24.9
レミケード	119	144	26	17.7	448	26.6
シンボニー	107	105	2	1.4	423	25.2
ステラール	70	62	8	12.5	328	21.2
テネリア	41	47	6	12.7	149	27.5
カナグル	25	22	4	17.3	92	27.7
カナリア	25	22	3	15.3	93	27.2
レクサプロ	39	39	0	0.6	146	26.5
ルバフィン	17	13	4	33.1	102	16.2
イムセラ	11	11	0	4.2	41	26.5
ワクチン	75	73	2	3.0	410	18.3
インフルエンザ	0	0	0	-	122	0.3
テラピック	27	24	3	12.9	113	23.8
ミールピック	19	19	0	0.4	64	29.4
ジェービックV	14	15	1	4.1	53	27.1
水痘ワクチン	13	13	0	2.1	48	26.1
長期収載品等	204	243	39	16.1	803	25.4
海外医療用医薬品	126	126	0	0.4	509	24.8
ラジカヴァ	56	61	5	8.9	224	24.9
ロイヤリティ収入等	38	51	13	25.7	199	18.9
インヴォカナ ロイヤリティ	20	21	0	0.4	非開示	-
ジレニア ロイヤリティ(注2)	11	17	6	36.9	非開示	-

(注1) 費用・損失の場合に 表示してあります。

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

2. 財務状況

資産・負債・資本の状況

(単位:億円)

	2020年度 第1四半期末	2019年度末	増減額	主なポイント
資産	10,589	10,463	126	
非流動資産	4,577	4,528	48	
有形固定資産	889	861	28	取得+56億円、減価償却 28億円ほか
のれん	897	897	0	
無形資産	1,810	1,813	3	
その他	980	957	23	
流動資産	6,012	5,935	78	
棚卸資産	864	803	60	
営業債権	1,125	1,086	39	
その他の金融資産	2,887	3,003	115	
現金及び現金同等物	1,007	831	177	「キャッシュ・フロー計算書」参照
その他	130	212	83	売却目的で保有する資産 58億円ほか
負債	1,880	1,884	4	
非流動負債	990	903	86	
その他の非流動負債	493	409	84	
その他	496	494	2	
流動負債	890	980	90	
営業債務	353	321	32	
その他	537	659	122	
資本	8,709	8,579	130	
資本金	500	500	-	
資本剰余金	4,480	4,480	1	
利益剰余金	3,727	3,584	143	四半期利益+115億円ほか
その他	3	15	12	

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
現金及び現金同等物期首残高	831	1,119	288
営業キャッシュ・フロー	9	52	43
税引前利益	178	92	86
減価償却費及び償却費	37	38	0
有形固定資産売却損益(は益)	81	-	81
営業債権債務の増減額	7	7	0
その他	119	70	48
投資キャッシュ・フロー	175	68	107
有形固定資産の取得・売却	81	34	114
投資の取得・売却及び償還	647	101	545
預け金の預入による支出	600	2	599
その他	48	1	46
財務キャッシュ・フロー	7	177	170
為替変動による影響	0	9	9
現金及び現金同等物の増減額	177	66	242
売却目的で保有する資産への振替に伴う増減額	-	1	1
現金及び現金同等物期末残高	1,007	1,054	47

設備投資 / 情報システム開発投資

(単位:億円)

	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
設備投資額 / 発生ベース	56	29	27
システム投資額 / 発生ベース	3	2	1

減価償却費および償却費

(単位:億円)

	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
有形固定資産	28	28	0
無形資産(製品に係るものを除く)	3	3	0
製品に係る無形資産	6	6	0

3 2020年度 業績予想について

(億円未満四捨五入)

損益予想

(単位:億円)

	2020年度 予想(注1)	前期比較			主なポイント(前期比較)
		2019年度実績	増減額	増減率%	
売上収益	3,835	3,798	37	1.0	「主要製品売上収益予想」参照
国内	3,141	3,140	1	0.0	
海外	694	658	36	5.4	
海外売上比率	18.1%	17.3%			
売上原価	1,875	1,810	65	3.6	薬価改定の影響等による売上原価率上昇
売上原価率	48.9%	47.7%			
売上総利益	1,960	1,988	28	1.4	
販管費等	1,860	1,797	63	3.5	業務生産性改革を推進し経費削減に努める一方、グローバル開発品の販売準備費用等を見込む
研究開発費	835	794	41	5.1	主にグローバル開発品の臨床試験費用の増加
コア営業利益	100	191	91	47.5	
非経常項目(注2)	70	251	321	-	
営業利益(注2)	170	61	231	-	
税引前利益(注2)	175	65	240	-	
当期利益(注2)	55	94	149	-	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	85	1	84	-	

為替レート

(単位:円)

	2020年度 想定レート	2019年度 平均レート
米ドル	108.00	108.95

主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2020年度 予想(注1)	前期比較		
		2019年度実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	3,036	3,044	8	0.3
重点品	1,823	1,771	52	2.9
レミケード	448	534	86	16.1
シンボニー	423	410	13	3.2
ステララ	328	260	68	26.2
テネリア	149	152	3	1.9
カナグル	92	88	3	3.4
カナリア	93	67	26	38.4
レクサプロ	146	150	3	2.1
ルバフィン	102	68	35	51.3
イムセラ	41	42	1	2.3
ワクチン	410	390	20	5.1
インフルエンザ	122	126	4	3.1
テトラビック	113	95	18	18.7
ミールビック	64	60	5	8.3
ジェービックV	53	52	2	3.4
水痘ワクチン	48	49	1	1.7
長期収載品等	803	883	80	9.1
海外医療用医薬品	509	497	12	2.4
ラジカヴァ	224	231	8	3.3
ロイヤリティ収入等	199	174	25	14.1
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	85	-	-
ジレニア ロイヤリティ(注3)	非開示	57	-	-

(注1) 2020年5月13日に公表した予想数値から変更はありません。また、上記業績予想には、新型コロナウイルス感染症の影響を含んでおりません。

(注2) 費用・損失の場合に 表示しております。

(注3) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

損益計算書

(単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 第1四半期	2020年度 予想
売上収益	4,240	4,339	4,248	3,798	918	3,835
売上原価	1,644	1,698	1,806	1,810	456	1,875
売上総利益	2,596	2,641	2,441	1,988	462	1,960
経費等	1,651	1,856	1,883	1,797	366	1,860
研究開発費	648	791	865	794	153	835
コア営業利益	945	785	558	191	96	100
営業利益	941	773	503	61	177	170
税引前利益	961	788	504	65	178	175
当期利益	689	540	322	94	109	55
親会社の所有者に帰属する当期利益	713	580	374	1	115	85

財政状態計算書

(単位:億円)

	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度 第1四半期末
資産	9,845	10,484	10,563	10,463	10,589
非流動資産	3,008	4,629	4,679	4,528	4,577
流動資産	6,838	5,855	5,884	5,935	6,012
負債	1,131	1,536	1,460	1,884	1,880
非流動負債	247	554	543	903	990
流動負債	884	982	917	980	890
資本	8,714	8,948	9,103	8,579	8,709

その他財務数値

(単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 第1四半期	2020年度 予想
営業キャッシュ・フロー	598	669	415	494	9	-
投資キャッシュ・フロー	106	192	312	392	175	-
財務キャッシュ・フロー	244	325	259	379	7	-
設備投資	145	62	86	155	59	182
減価償却費および償却費	105	115	115	109	37	157
有形	73	76	71	70	28	114
無形(製品に係るものを含む)	31	40	44	40	9	43
親会社所有者帰属持分比率(%)	87.4	84.2	85.0	81.4	81.8	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%)	8.5	6.6	4.2	0.0	-	-
基本的1株当たり当期利益(円)	127.03	103.35	66.64	0.26	-	-
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,533.91	1,574.26	1,600.64	1,519.22	1,543.26	-

従業員数

(単位:人)

	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度 第1四半期末	2020年度末 予想
連結	7,280	7,187	7,228	6,987	6,985	7,000
単体	4,239	4,222	4,111	3,764	3,564	3,450

5 四半期業績の推移

(億円未満四捨五入)

損益計算書

(単位:億円)

	2019年度					2020年度	
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	通期予想
売上収益	981 25.8%	900 23.7%	1,093 28.8%	824 21.7%	3,798 100.0%	918 23.9%	3,835 100.0%
国内	808 25.7%	739 23.5%	926 29.5%	667 21.3%	3,140 100.0%	757 24.1%	3,141 100.0%
海外	174 26.4%	161 24.5%	167 25.3%	157 23.8%	658 100.0%	161 23.1%	694 100.0%
売上原価	448	437	546	380	1,810	456	1,875
売上原価率	45.6%	48.6%	49.9%	46.1%	47.7%	49.7%	48.9%
売上総利益	533 26.8%	463 23.3%	547 27.5%	445 22.4%	1,988 100.0%	462 23.6%	1,960 100.0%
販管費等	436 24.3%	443 24.7%	423 23.5%	496 27.6%	1,797 100.0%	366 19.7%	1,860 100.0%
研究開発費	199 25.1%	199 25.0%	178 22.4%	219 27.6%	794 100.0%	153 18.3%	835 100.0%
コア営業利益(注)	98 51.2%	19 10.2%	125 65.5%	51 26.9%	191 100.0%	96 95.8%	100 100.0%
営業利益(注)	96 -	29 -	124 -	311 -	61 -	177 103.9%	170 100.0%
税引前(四半期)利益(注)	92 -	29 -	125 -	311 -	65 -	178 101.9%	175 100.0%
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益(注)	69 -	14 -	99 -	181 -	1 -	115 135.3%	85 100.0%

* 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注) 費用・損失の場合に - 表示しております。

主要製品売上収益

(単位:億円)

	2019年度					2020年度	
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	通期予想
国内医療用医薬品	782 25.7%	710 23.3%	905 29.7%	647 21.3%	3,044 100.0%	733 24.1%	3,036 100.0%
重点品	465 26.3%	422 23.8%	491 27.7%	392 22.2%	1,771 100.0%	453 24.9%	1,823 100.0%
レミケード	144 27.1%	132 24.7%	149 27.9%	109 20.4%	534 100.0%	119 26.6%	448 100.0%
シンボニー	105 25.7%	99 24.3%	112 27.5%	93 22.6%	410 100.0%	107 25.2%	423 100.0%
ステラーラ	62 23.8%	64 24.6%	78 29.9%	57 21.8%	260 100.0%	70 21.2%	328 100.0%
テネリア	47 30.9%	34 22.3%	40 26.3%	31 20.5%	152 100.0%	41 27.5%	149 100.0%
カナグル	22 24.4%	19 22.0%	25 28.1%	23 25.5%	88 100.0%	25 27.7%	92 100.0%
カナリア	22 32.7%	16 23.0%	18 26.1%	12 18.2%	67 100.0%	25 27.2%	93 100.0%
レクサプロ	39 26.1%	36 23.8%	42 27.9%	33 22.3%	150 100.0%	39 26.5%	146 100.0%
ルバフィン	13 18.5%	12 18.4%	17 24.6%	26 38.5%	68 100.0%	17 16.2%	102 100.0%
イムセラ	11 27.0%	10 24.4%	12 27.7%	9 20.9%	42 100.0%	11 26.5%	41 100.0%
ワクチン	73 18.7%	84 21.6%	172 44.1%	61 15.6%	390 100.0%	75 18.3%	410 100.0%
インフルエンザ	0 0.1%	18 14.3%	106 84.3%	2 1.6%	126 100.0%	0 0.3%	122 100.0%
テトラビック	24 25.0%	22 23.2%	25 26.5%	24 25.3%	95 100.0%	27 23.8%	113 100.0%
ミールビック	19 31.9%	16 27.1%	13 21.2%	12 19.8%	60 100.0%	19 29.4%	64 100.0%
ジェービックV	15 29.3%	14 26.6%	13 25.1%	10 19.0%	52 100.0%	14 27.1%	53 100.0%
水痘ワクチン	13 26.2%	12 24.7%	13 26.1%	11 23.1%	49 100.0%	13 26.1%	48 100.0%
長期収載品等	243 27.6%	204 23.1%	242 27.4%	194 22.0%	883 100.0%	204 25.4%	803 100.0%
海外医療用医薬品	126 25.3%	123 24.7%	126 25.4%	122 24.6%	497 100.0%	126 24.8%	509 100.0%
ラジカヴァ	61 26.5%	55 23.8%	57 24.8%	58 24.9%	231 100.0%	56 24.9%	224 100.0%
ロイヤリティ収入等	51 29.0%	42 23.9%	44 25.2%	38 21.9%	174 100.0%	38 18.9%	199 100.0%
インヴォカナ ロイヤリティ	21 24.2%	20 23.9%	24 28.3%	20 23.7%	85 100.0%	20 -	非開示 -
ジレニア ロイヤリティ(注)	17 29.3%	16 27.7%	14 23.8%	11 19.2%	57 100.0%	11 -	非開示 -

* 各項目の下端は進捗率を表示

(注) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

6 新製品開発状況について(2020年7月25日現在)

免疫炎症

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-5547 (ファシヌマブ)	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェネロン(米)から導入
MT-7117	選択的メラノコルチン1受容体作動剤 (赤芽球性プロトボルフィリン症、X連鎖性プロトボルフィリン症)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的 アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(クローン病)	日本 フェーズ 2	
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33(IL-33) モノクローナル抗体製剤 (子宮内膜症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
	(季節性アレルギー性鼻炎)	フェーズ 1	

糖尿病・腎

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	アジア 申請	自社創製品
	(糖尿病性腎症)	アジア 申請	
		日本 フェーズ 3	
MP-513 テネリア (テネリグリブチン臭化水素酸 塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	アジア 申請	自社創製品
		中国 申請(2019年9月)	
		欧州 フェーズ 2	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
		日本 フェーズ 2	
	(非アルコール性脂肪性肝炎: NASH)	日本 フェーズ 2	

アジア: 日本・中国を除く

中枢神経

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	アジア 申請	自社創製品
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	アジア 申請	ゲデオンリッター(ハンガリー)から導入
MT-0551 (イネビズマブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤 (視神経脊髄炎スペクトラム障害: NMOSD)	日本 申請(2020年6月)	ピエラ・バイオ(米)から導入
		アジア フェーズ 3	
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ 3	ミネルバ・ニューロサイエンス(米) へ導出
MT-5199 (バルベナジントシル酸塩)	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイエンシズ(米) から導入
		アジア 申請	
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS/経口懸濁剤)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-8554	TRPM8遮断剤 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(更年期に伴う血管運動神経症状)	グローバル フェーズ 2	
MT-3921	抗RGMa抗体 (脊髄損傷)	フェーズ 1	大阪大学(日)と共同開発

ワクチン

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰 白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日)と共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/成人)	カナダ 申請(2019年9月)	メディカゴ(カナダ)品
	(季節性インフルエンザの予防/高齢者)	欧州 フェーズ 3	
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ 2	メディカゴ(カナダ)品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品
MT-2766	植物由来VLPワクチン (新型コロナウイルス感染症の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品

アジア:日本・中国を除く

その他

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TAU-284 タリオン (ペボタスチンベシル酸塩)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー 性疾患治療剤 (アレルギー性鼻炎、蕁麻疹)	アジア 申請	宇部興産(日) から導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (二次性副甲状腺機能亢進症)	中国、アジア フェーズ3	協和キリン(日) へ導出
MT-4129	循環器官用剤 等	フェーズ1	自社創製品
MT-8633/TR1801-ADC	抗c-Met抗体薬物複合体 (固形がん)	フェーズ1	自社創製品 Open Innovation Partners(日)と協業

2019年度決算発表からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2020年7月25日 現在	起源/導出先等
MP-513 テネリア (テネリグリブチン臭化水素酸 塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	アジア 申請	タイ 承認 (2020年4月)	自社創製品
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (糖尿病性腎症)	欧州 申請 (2019年7月)	欧州 承認 (2020年6月)	ヤンセンファーマ シューティカルズ(米) へ導出
		記載なし	アジア 申請	自社創製品
MT-6548 (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本 申請 (2019年7月)	日本 承認 (2020年6月)	アケビア(米)から導入
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	アジア 申請	インドネシア 承認 (2020年7月)	自社創製品
MT-0551 (イネピリズムブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤 (視神経脊髄炎スペクトラム障害: NMOSSD)	日本、アジア フェーズ3	日本 申請 (2020年6月)	ピエラ・バイオ(米) から導入
MT-7117	選択的メラノコルチン1受容体作動剤 (赤芽球性プロトポルフィリン症、X連鎖性プロト ポルフィリン症)	グローバル フェーズ2	グローバル フェーズ3	自社創製品
MT-2766	植物由来VLPワクチン (新型コロナウイルス感染症の予防)	記載なし	フェーズ1	メディカゴ(カナダ)品
ND0701 (アボモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	フェーズ1	削除(開発中止)	自社創製品
MT-6345	神経系用剤	フェーズ1	削除(開発中止)	宇部興産(日)と 共同開発

アジア: 日本・中国を除く